専攻分野/コース (英文名)	神経精神科学 (Neuropsychiatry)
研究指導教員	古茶　大樹
研究・教育の概略	精神医学は、精神症状（異常精神現象）の診断と治療に力点を置くと同時に、幅広く人間の精神現象（正常精神現象も含む）を扱う学問である。「医学的方法にて心の悩み・ゆがみを如何に解決するか」が治療である。そして治療法には、精神療法と身体療法（薬物療法・電気けいれん療法など）がある。精神は、あらゆる人間の機能の中ですべてを統括する高度な機能である。ゲノム科学の発達により、物質的に生命活動（精神活動を含む）を解明できる期待感があり、臓器（脳科学）中心主義に傾く可能性がある。しかし、現状における解明は未だ困難であるため、心を重視し、ヒト全体を把握する必要性が生じる。 ヒトの心を診るとは目の前にいる患者の眼差し、表情、動作、身繕いなど、その一挙手一投足を真剣に見つめ、入念な面接を繰り返しながら、その異変を構成している精神医学的徴候を丹念に解き明かしていくプロセスである。これが精神医学の『臨床』というべきものであり、大変に興味深い。精神医学において、臨床的な客観徴候の大部分は患者そのものから表出されるので、このプロセスなくして精神医学の臨床は成立しない。その際、自らを客観的に中立的に置き、監視し、対応することが重要である。 その次に生じてくる興味は、おそらく眼の前にある精神現象の異変がなぜ起こってくるのかということに向けられてくるはずである。患者をよく診れば診るほど、「何故」という疑問は深くなってくる。これを解き明かしていくプロセスが『研究』で、疑問が素朴であるほど重要な研究テーマになることが多く、従って患者を目の前にした時、常に「何故」という姿勢が重要になってくる。精神医学的方法論には、理科系の方法として、生物学的精神医学、精神薬理学、分子遺伝学、大脳病理学など、文化系の方法として、精神病理学（記述精神医学）、精神分析学（力動精神医学）、社会精神医学、司法精神医学などがある。 本分野では臨床へ還元しうる教育、研究を行う。講義・実習の内容は大学院生の研究成果、修得状況を勘案し柔軟に対応する。
研究項目	1.　臨床精神病理学に関わる研究 2.　治療介入による統合失調症患者の認知機能および症候学的変化に関する研究 3.　抗精神病薬投与下における統合失調症患者の主観的症状評価 4.　レビー小体型認知症の認知機能的特徴の探索 5.　精神疾患に対する水素療法の神経保護作用 6.　LAI から経口抗精神病薬へ切り替えた統合失調症患者の臨床的特性 7.　司法精神医学的研究
準備学習(予習・復習)	1. 事前より担当教員と連絡をとり、指導を仰ぐこと 2. 事前に参考資料を読むこと 3. 事後に要点を確認すること

2023 年度講義シラバス（１）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神科関連疾患Ⅰ			必修/選択	必修
担当教員	安藤　久美子	担当教員連絡先	内線　3202		
単位数	2 単位(前期 1・後期 1)	履修年次	1 年		
テーマと目的	精神科関連疾患について基礎的な知識を得る。				
講義計画	様々な精神科関連疾患について基礎的な知識を得、臨床への応用を検討する。				
達成目標	1. 基本的な精神科疾患について基礎的な知識を説明できる。 2. 臨床への応用をおおまかに計画できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	双極性障害病態の理解から治療戦略まで第2版医学書院 加藤忠史著改訂 老年精神医学講座・総論各論 日本老年精神医学会編を読んでおくこと 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	大うつ病性障害の診断基準	1	双極性障害の概念
2	大うつ病性障害の症状Ⅰ	2	双極性障害の診断基準
3	大うつ病性障害の症状Ⅱ	3	双極Ⅰ型障害の症状Ⅰ
4	大うつ病性障害の症状Ⅲ	4	双極Ⅰ型障害の症状Ⅱ
5	大うつ病性障害の症状Ⅳ	5	双極Ⅰ型障害の症状Ⅲ
6	器質性精神障害、抑うつを伴うもの	6	双極Ⅱ型障害の症状Ⅰ
7	物質関連障害、抑うつを伴うもの	7	双極Ⅱ型障害の症状Ⅱ
8	症状精神病、抑うつを伴うもの	8	双極Ⅱ型障害の症状Ⅲ
9	大うつ病性障害の疫学	9	混合状態の特徴、注意点
10	老年期うつ病の特徴Ⅰ	10	双極性障害の疫学
11	老年期うつ病の特徴Ⅱ	11	器質性精神障害、躁症状を伴うもの
12	老年期うつ病の特徴Ⅲ	12	物質関連障害、躁症状を伴うもの
13	希死念慮について	13	症状精神病、躁症状を伴うもの
14	うつ病の基本的治療法	14	基本的治療法
15	口頭試問	15	口頭試問

2023 年度講義シラバス（２）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神科関連疾患Ⅱ			必修/選択	必修
担当教員	古茶　大樹	担当教員連絡先	内線　3202		
単位数	2 単位（前期 1･後期 1）	履修年次	1 年		
テーマと目的	精神科関連疾患について基礎的な知識を得る。				
講義計画	様々な精神科関連疾患について基礎的な知識を得、臨床への応用を検討する。				
達成目標	1. 基本的な精神科疾患について基礎的な知識を説明できる。 2. 臨床への応用をおおまかに計画できる。				
教科書･参考書	別途指示				
準備学習(予習･復習･時間)	事前に参考資料を読むこと　1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定･学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	統合失調症の概念	1	失調感情障害の診断基準
2	統合失調症の疫学	2	失調感情障害の症状　Ⅰ
3	統合失調症の診断基準	3	失調感情障害の症状　Ⅱ
4	統合失調症の病型	4	統合失調症と失調感情障害の鑑別
5	統合失調症の症状　Ⅰ	5	基本的治療法
6	統合失調症の症状　Ⅱ	6	短期精神病性障害の診断基準
7	統合失調症の症状　Ⅲ	7	短期精神病性障害の症状
8	統合失調症の症状　Ⅳ	8	基本的治療法、対処法
9	統合失調症の症状　Ⅴ	9	二人組精神病の診断基準
10	器質性精神障害、幻覚妄想を伴う	10	妄想性障害の診断基準
11	物質関連障害、幻覚妄想を伴う	11	基本的治療法
12	症状精神病、幻覚妄想を伴う	12	PANSS の基礎知識
13	統合失調症の基本的治療法　Ⅰ	13	DIEPSS の基礎知識
14	統合失調症の基本的治療法　Ⅱ	14	統合失調症関連疾患の鑑別ポイント
15	口頭試問	15	口頭試問

2023 年度講義シラバス（３）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神科治療学Ⅰ			必修/選択	必修
担当教員	安藤　久美子	担当教員連絡先	内線　3202		
単位数	2 単位（前期 2）	履修年次	1 年		
テーマと目的	精神科関連疾患の治療について基礎的な知識を得る。				
講義計画	様々な精神科関連疾患の治療について基礎的な知識を得、臨床への応用を検討する。				
達成目標	1. 基本的な精神科疾患の治療について基礎的な知識を説明できる。 2. 臨床への応用を計画できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	1. 事前に参考資料を読むこと　1 時間 2. 事後に要点を確認すること				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	精神科治療の歴史	1	感情障害の治療法
2	身体療法について　Ⅰ	2	抗うつ薬　Ⅰ
3	身体療法について　Ⅱ	3	抗うつ薬　Ⅱ
4	向精神薬の歴史	4	感情調節薬
5	向精神薬の概要	5	抗不安薬の使用法
6	統合失調症急性期治療、興奮	6	大うつ病性障害の薬物治療　Ⅰ
7	統合失調症急性期治療、昏迷	7	大うつ病性障害の薬物治療　Ⅱ
8	基本的な抗精神病薬の使用法	8	双極性障害の薬物治療　Ⅰ
9	統合失調症治療の効果判定	9	双極性障害の薬物治療　Ⅱ
10	維持期の治療	10	ECT の歴史
11	慢性期統合失調症の薬物治療	11	現在の ECT
12	アカシジア、薬原性錐体外路症状	12	維持療法
13	急性期ジストニア、遅発性ジスキネジア	13	精神療法
14	口頭試問	14	口頭試問
15	口頭試問	15	口頭試問

2023 年度講義シラバス（４）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神科診断学概論 I			必修/選択	必修
担当教員	安藤　久美子	担当教員連絡先	内線　3202		
単位数	2 単位（前期 2）	履修年次	1 年		
テーマと目的	精神科関連疾患について基礎的な診断基準の修得。				
講義計画	様々な精神科関連疾患について基礎的な診断基準の修得し、鑑別診断を検討する。				
達成目標	1. 基本的な精神科疾患について基礎的な診断基準を説明できる。 2. 系統だった鑑別診断を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	教科書、参考書の該当部分を読んでおくこと　1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	状態像と症候群について	1	統合失調症の診断基準
2	抑うつ状態	2	大うつ病エピソードの診断基準
3	不安症候群	3	躁病エピソードの診断基準
4	精神運動抑制状態	4	パニック発作の診断基準
5	昏迷状態	5	広場恐怖の診断基準
6	不眠症候群	6	社会不安障害の診断基準
7	摂食障害群	7	全般性不安障害の診断基準
8	精神運動興奮状態	8	強迫性障害の診断基準
9	躁状態	9	転換性障害の診断基準
10	脱抑制状態	10	心気症の診断基準
11	幻覚妄想状態	11	解離性健忘、とん走の診断基準
12	せん妄状態	12	境界性人格障害の診断基準
13	健忘症候群	13	自己愛性人格障害の診断基準
14	見当識障害	14	反社会性人格障害の診断基準
15	口頭試問	15	口頭試問

2023 年度講義シラバス（５）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神科治療学Ⅱ			必修/選択	必修
担当教員	古茶　大樹	担当教員連絡先	内線　3202		
単位数	2 単位（後期 2）	履修年次	1 年		
テーマと目的	精神科関連疾患の治療について基礎的な知識を得る。				
講義計画	様々な精神科関連疾患の治療についての知識を得、臨床への応用を検討する。				
達成目標	1. 精神科疾患の治療について説明できる。 1 時間 2. 臨床への応用を計画できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	1. 事前に参考資料を読むこと 2. 事後に要点を確認すること				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	老年期精神障害治療の概要	1	認知症の診断、治療について
2	老年期のストレス　Ⅰ	2	認知症のタイプ　Ⅰ
3	老年期のストレス　Ⅱ	3	認知症のタイプ　Ⅱ
4	老年期のストレス　Ⅲ	4	認知症のタイプ　Ⅲ
5	老年期のストレス　Ⅳ	5	認知症のタイプ　Ⅳ
6	老年期の代謝　Ⅰ	6	認知症のタイプ　Ⅴ
7	老年期の代謝　Ⅱ	7	画像診断　Ⅰ
8	老年期の代謝　Ⅲ	8	画像診断　Ⅱ
9	老年期うつ病の特徴	9	画像診断　Ⅲ
10	重度うつ病に伴う幻覚妄想	10	認知機能評価　Ⅰ
11	心気念慮	11	認知機能評価　Ⅱ
12	治療薬の選択	12	認知機能評価　Ⅲ
13	処方量	13	治療薬
14	電気けいれん療法	14	これからの治療薬の試み
15	口頭試問	15	口頭試問

2023 年度講義シラバス（６）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神科診断学概論実習			必修/選択	必修
担当教員	古茶　大樹	担当教員連絡先	内線　3202		
単位数	1 単位（後期）	履修年次	1 年		
テーマと目的	基礎的な精神科疾患についての面接技法の修得。				
講義計画	様々な精神科疾患について基礎的な面接技法を実習、修得し、診断を検討する。				
達成目標	1. 実際に患者さんと面接し、基礎的な面接技法を修得する。 2. 系統だった面接によって診断に至ることができる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	実施後にレポート提出　1 時間				
成績評価法	出席と講義内での実習内容および患者さんに対する面接態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	統合失調症患者の面接概要	1	精神運動抑制に関する面接技法
2	いわゆるラポールについて	2	思考抑制に関する面接技法
3	幻覚に関する面接技法	3	心気念慮に関する面接技法
4	妄想に関する面接技法	4	自責感に関する面接技法
5	自我障害に関する面接技法	5	不眠、食思不振に関する面接技法
6	睡眠、摂食に関する面接技法	6	家族教育
7	緊張病、昏迷状態での面接技法	7	例題　Ⅰ
8	例題　Ⅰ	8	例題　Ⅱ
9	例題　Ⅱ	9	例題　Ⅲ
10	例題　Ⅲ	10	人格障害患者の面接概要
11	感情障害患者の面接概要	11	共感の重要性
12	基本的態度	12	怒りの転移
13	抑うつ気分に関する面接技法	13	抑うつ感に関する面接技法
14	不安に関する面接技法	14	イライラ感関する面接技法
15	焦燥感に関する面接技法	15	例題

2023 年度講義シラバス（７）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神科関連疾患Ⅲ			必修/選択	必修
担当教員	古茶　大樹	担当教員連絡先	内線　3202		
単位数	2 単位（前期 1･後期 1）	履修年次	2 年		
テーマと目的	精神科関連疾患についての最近の知見を得る。				
講義計画	様々な精神科関連疾患について最近の知見を得、研究への応用を検討する。				
達成目標	1. 特定の精神科疾患について最近の知見を説明できる。 2. 研究への応用をおおまかに計画できる。				
教科書･参考書	別途指示				
準備学習(予習･復習･時間)	事前に参考資料を読むこと　1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定･学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	統合失調症治療の最近の動向	1	処方薬と薬剤性認知機能障害
2	いわゆる CATIE study について	2	大量処方　Ⅰ
3	baseline study について	3	大量処方　Ⅱ
4	各種抗精神病薬の有効性、副作用　Ⅰ	4	大量処方　Ⅲ
5	各種抗精神病薬の有効性、副作用　Ⅱ	5	抗コリン薬の有効性、副作用　Ⅰ
6	各種抗精神病薬の有効性、副作用　Ⅲ	6	抗コリン薬の有効性、副作用　Ⅱ
7	各種抗精神病薬の有効性、副作用　Ⅳ	7	統合失調症の認知機能低下
8	各種抗精神病薬の作用機序の差異　Ⅰ	8	抗精神病薬による神経保護作用
9	各種抗精神病薬の作用機序の差異　Ⅱ	9	抗精神病薬による認知機能障害
10	各種抗精神病薬の作用機序の差異　Ⅲ	10	抗コリン薬による認知機能障害
11	各種抗精神病薬の作用機序の差異　Ⅳ	11	主観的ウェルビーイング
12	各種抗精神病薬のコスト、効果　Ⅰ	12	GLYT1 阻害薬
13	各種抗精神病薬のコスト、効果　Ⅱ	13	NK3 受容体拮抗薬
14	perphenazine の意味すること	14	プラセボ対照試験
15	口頭試問	15	口頭試問

2023 年度講義シラバス（８）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神科関連疾患Ⅳ			必修/選択	必修
担当教員	安藤　久美子	担当教員連絡先	内線　3202		
単位数	2 単位（前期 1･後期 1）	履修年次	2 年		
テーマと目的	精神科関連疾患についての最近の知見を得る。				
講義計画	様々な精神科関連疾患について最近の知見を得、研究への応用を検討する。				
達成目標	1. 特定の精神科疾患について最近の知見を説明できる。 2. 研究への応用をおおまかに計画できる。				
教科書･参考書	別途指示				
準備学習(予習･復習･時間)	臨床精神薬理ハンドブック 樋口輝彦、小山司、神庭重信編集 医学書院を読んでおくこと 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定･学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講 義 内 容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	感情安定薬について	1	抗精神病薬の副作用について
2	炭酸リチウム Ⅰ	2	アカシジア
3	炭酸リチウム Ⅱ	3	錐体外路症状
4	炭酸リチウム Ⅲ	4	薬剤性パーキンソニズム Ⅰ
5	バルプロ酸ナトリウム Ⅰ	5	薬剤性パーキンソニズム Ⅱ
6	バルプロ酸ナトリウム Ⅱ	6	急性ジストニア
7	カルバマゼピン Ⅰ	7	遅発性ジスキネジア Ⅰ
8	カルバマゼピン Ⅱ	8	遅発性ジスキネジア Ⅱ
9	蛋白リン酸化	9	遅発性ジストニア Ⅰ
10	プロテインキナーゼ C	10	遅発性ジストニア Ⅱ
11	セカンドメッセンジャー	11	悪性症候群 Ⅰ
12	遺伝子への関与	12	悪性症候群 Ⅱ
13	GAP 43	13	横紋筋融解症
14	神経成長因子、神経保護作用	14	高プロラクチン血症
15	口頭試問	15	口頭試問

2023 年度講義シラバス（９）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神科治療学Ⅲ			必修/選択	必修
担当教員	古茶　大樹	担当教員連絡先	内線　3202		
単位数	2 単位（前期 2）	履修年次	2 年		
テーマと目的	精神科関連疾患の治療について基礎的な知識を得る。				
講義計画	様々な精神科関連疾患の治療についての知識を得、臨床への応用を検討する。				
達成目標	1. 精神科疾患の治療について説明できる。 2 .臨床への応用を計画できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読むこと　1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	第 2 世代抗精神病薬の概要	1	日本の精神科薬物治療の現実
2	第 2 世代抗精神病薬　Ⅰ	2	大量多剤投与の弊害
3	第 2 世代抗精神病薬　Ⅱ	3	大量多剤投与の原因　Ⅰ
4	第 2 世代抗精神病薬　Ⅲ	4	大量多剤投与の原因　Ⅱ
5	第 2 世代抗精神病薬　Ⅳ	5	大量多剤投与の原因　Ⅲ
6	第 2 世代抗精神病薬　Ⅴ	6	処方改善を阻む因子　Ⅰ
7	単剤処方	7	処方改善を阻む因子　Ⅱ
8	治療効果の評価について	8	処方改善を阻む因子　Ⅲ
9	主観的ウェルビーイング	9	単剤処方へのスイッチング
10	神経保護作用	10	スイッチング過程の諸問題　Ⅰ
11	脳由来栄養因子	11	スイッチング過程の諸問題　Ⅱ
12	スイッチングについて　Ⅰ	12	スイッチング過程の諸問題　Ⅲ
13	スイッチングについて　Ⅱ	13	スイッチングの実際　Ⅰ
14	スイッチングについて　Ⅲ	14	スイッチングの実際　Ⅱ
15	口頭試問	15	口頭試問

2023 年度講義シラバス（１０）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神科治療学Ⅳ			必修/選択	必修
担当教員	安藤　久美子	担当教員連絡先	内線　3202		
単位数	1 単位（後期 1）	履修年次	2 年		
テーマと目的	精神科関連疾患の治療について基礎的な知識を得る。				
講義計画	様々な精神科関連疾患の治療についての知識を得、臨床への応用を検討する。				
達成目標	1. 精神科疾患の治療について説明できる。 2. 臨床への応用を計画できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読むこと　1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1		1	向精神薬の神経保護作用　Ⅰ
2		2	向精神薬の神経保護作用　Ⅱ
3		3	向精神薬の神経保護作用　Ⅲ
4		4	脳由来栄養因子
5		5	サイトカイン
6		6	統合失調症患者の画像検査
7		7	統合失調症と頭部 MRI 画像　Ⅰ
8		8	統合失調症と頭部 MRI 画像　Ⅱ
9		9	統合失調症と頭部 MRI 画像　Ⅲ
10		10	向精神薬と頭部 PET 画像　Ⅰ
11		11	向精神薬と頭部 PET 画像　Ⅱ
12		12	向精神薬と頭部 PET 画像　Ⅲ
13		13	evidence based medicine　Ⅰ
14		14	evidence based medicine　Ⅱ
15		15	口頭試問

2023 年度講義シラバス（１１）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神科診断学概論Ⅱ			必修/選択	必修
担当教員	古茶　大樹	担当教員連絡先	内線　3202		
単位数	2 単位（前期 2）	履修年次	2 年		
テーマと目的	精神科関連疾患について基礎的な診断基準の修得。				
講義計画	様々な精神科関連疾患について基礎的な診断基準の修得し、鑑別診断を検討する。				
達成目標	1. 基本的な精神科疾患について基礎的な診断基準を説明できる。 2. 系統だった鑑別診断を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	1.事前に参考資料を読むこと　1 時間 2.事後に要点を確認すること				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	長谷川式簡易知能評価スケール	1	画像診断（ MRI と SPECT ） Ⅰ
2	STM-COMET	2	画像診断（ MRI と SPECT ） Ⅱ
3	MMSE	3	画像診断（ MRI と SPECT ） Ⅲ
4	アルツハイマー型認知症の認知能低下 Ⅰ	4	画像診断（ MRI と SPECT ） Ⅳ
5	アルツハイマー型認知症の認知能低下 Ⅱ	5	レビー小体型認知症の特徴 Ⅰ
6	アルツハイマー型認知症の認知能低下 Ⅲ	6	レビー小体型認知症の特徴 Ⅱ
7	アルツハイマー型認知症の認知能低下 Ⅳ	7	レビー小体型認知症の特徴 Ⅲ
8	mild cognitive impairment	8	前頭側頭型認知症の特徴 Ⅰ
9	診断基準のあいまいさ	9	前頭側頭型認知症の特徴 Ⅱ
10	AD の周辺症状 Ⅰ	10	前頭側頭型認知症の特徴 Ⅲ
11	AD の周辺症状 Ⅱ	11	血管性認知症の診断基準
12	AD の周辺症状 Ⅲ	12	クロイツフェルトーヤコブ病
13	アルツハイマー型認知症とうつ病	13	大脳皮質基底核変性症
14	アルツハイマー型認知症と海馬	14	進行性核上性麻痺
15	口頭試問	15	口頭試問

2023 年度講義シラバス（１２）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神科診断学概論Ⅲ			必修/選択	必修
担当教員	安藤　久美子	担当教員連絡先	内線　3202		
単位数	1 単位（後期 1）	履修年次	2 年		
テーマと目的	精神科関連疾患について基礎的な診断基準の修得。				
講義計画	様々な精神科関連疾患について基礎的な診断基準の修得し、鑑別診断を検討する。				
達成目標	1. 基本的な精神科疾患について基礎的な診断基準を説明できる。 2. 系統だった鑑別診断を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	1.事前に参考資料を読むこと　1 時間 2.事後に要点を確認すること				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1		1	せん妄Ⅰ
2		2	せん妄Ⅱ
3		3	せん妄Ⅲ
4		4	器質性精神障害　Ⅰ
5		5	器質性精神障害　Ⅱ
6		6	器質性精神障害　Ⅲ
7		7	症状精神病　Ⅰ
8		8	症状精神病　Ⅱ
9		9	症状精神病　Ⅲ
10		10	物質関連障害　Ⅰ
11		11	物質関連障害　Ⅱ
12		12	物質関連障害　Ⅲ
13		13	睡眠障害　Ⅰ
14		14	睡眠障害　Ⅱ
15		15	口頭試問

2023 年度講義シラバス（１３）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	臨床精神医学特論			必修/選択	選択
担当教員	古茶　大樹	担当教員連絡先	内線 3202		
単位数	1 単位（通年第3金曜日）	履修年次	1 年		
テーマと目的	精神科臨床上の現在の問題をとりあげ、臨床上に生かす				
講義計画	精神科関連疾患で現在話題になっていること、問題、現象、疾患、治療について特別講師を招聘し、講義いただく。				
達成目標	1. 精神科臨床上の最近の問題について説明できる。 2. 臨床への応用を計画できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読むこと　1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	SSRI の最近の話題	1	
2	前方型認知症について	2	
3	精神疾患における認知行動療法	3	
4	分子イメージングで探る精神疾患の病態と治療	4	
5	軽度発達障害の病態・診断・治療	5	
6	癌治療における精神医学的な問題とその対応について	6	
7	認知症と生活習慣病	7	
8	口頭試問	8	
9	SSRI の最近の話題	9	
10	前方型認知症について	10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	

2023 年度講義シラバス（１４）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	精神療法特論			必修/選択	選択
担当教員	笠貫　浩史	担当教員連絡先	内線 3202		
単位数	1 単位（前期4回・後期4回）	履修年次	1 年		
テーマと目的	力動的精神療法を学習し、臨床面接に応用する				
講義計画	様々な臨床場面における力動的精神療法の実際を学習し、問題点を検討する。 （前期 4 回、後期 4 回：講義日は受講者に随時連絡）				
達成目標	1. 力動的精神療法について説明できる 2. 精神療法の適応の可否を理解できる				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	参考資料を読んでおくこと　1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	力動的精神療法について	1	操作的診断基準の限界
2	虐待を行ってしまう母親への治療的なアプローチ	2	思春期の個人精神療法
3	力動面接について	3	小児科における心理士の臨床活動
4	子どものアセスメントと治療構造	4	口頭試問
5		5	
6		6	
7		7	
8		8	
9		9	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	

2023 年度講義シラバス（１５）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	うつ病治療学			必修/選択	選択
担当教員	笠貫　浩史	担当教員連絡先	内線 3202		
単位数	1 単位（通年第 1 水曜日）	履修年次	2 年		
テーマと目的	薬物療法、精神療法などうつ病の治療全般について				
講義計画	うつ病の治療についての知識を得、臨床への応用を検討する。				
達成目標	1.うつ病治療について理解し説明できる。 2.臨床への応用を計画できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	臨床精神薬理ハンドブック 樋口輝彦、小山司、神庭重信編集 医学書院を読んでおくこと 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講 義 内 容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	うつ病の病態	1	
2	うつ病の生化学的解釈	2	
3	抗うつ薬の作用機序	3	
4	SSRI の臨床的使用方法	4	
5	SNRI の臨床的使用方法	5	
6	三環形抗うつ薬の臨床的使用方法	6	
7	認知行動療法	7	
8	口頭試問	8	
9		9	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	

2023 年度講義シラバス（１６）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	不安障害治療学			必修/選択	選択
担当教員	笠貫　浩史	担当教員連絡先	内線 3202		
単位数	1 単位（通年第 2 水曜日）	履修年次	2 年		
テーマと目的	薬物療法、精神療法など不安障害の治療全般について				
講義計画	不安障害の治療についての知識を得、臨床への応用を検討する。				
達成目標	1. 不安障害治療について理解し説明できる。 2. 臨床への応用を計画できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	臨床精神薬理ハンドブック 樋口輝彦、小山司、神庭重信編集 医学書院を読んでおくこと 1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	不安障害の病態	1	
2	不安障害の生化学的解釈	2	
3	抗不安薬の作用機序	3	
4	抗不安薬の臨床的使用方法-1	4	
5	抗不安薬の臨床的使用方法-2	5	
6	SSRI/SNRI の臨床的使用方法	6	
7	認知行動療法	7	
8	口頭試問	8	
9		9	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	

2023 年度講義シラバス（１７）

講義コード	※	専攻分野	神経精神科学		
講義題目	統合失調症治療学			必修/選択	選択
担当教員	古茶　大樹	担当教員連絡先	内線 3202		
単位数	1 単位（通年第 3 木曜日）	履修年次	2 年		
テーマと目的	薬物療法、精神療法など統合失調症の治療全般について				
講義計画	統合失調症の治療についての知識を得、臨床への応用を検討する。				
達成目標	1. 統合失調症治療について理解し　説明できる。 2. 臨床への応用を計画できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読むこと　1 時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	精神医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する				

講　義　内　容

前期(回)	内　容　（出席㊞）	後期(回)	内　容　（出席㊞）
1	統合失調症の病態	1	
2	統合失調症の生化学的解釈	2	
3	抗精神病薬の作用機序	3	
4	第2世代抗精神病薬の臨床的使用方法 1	4	
5	第2世代抗精神病薬の臨床的使用方法 2	5	
6	抗精神病薬の臨床的使用方法 1	6	
7	抗精神病薬の臨床的使用方法 2	7	
8	口頭試問	8	
9		9	
10		10	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	